
Unknown Story

ガルマンチャー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Unknown Story

【Nコード】

N8354Q

【作者名】

ガルマンチャー

【あらすじ】

ここは、未知の星 アンノウン。
そこでは、権力を持つものがすべてを支配するという帝国 アギオンの配下にあった……
だが……力もったもの、アヒリテイ異能者が 独立騎士団 ……いわば、傭兵が帝国を変えろという話である。

第1話：未知から始まる・・・（前書き）

誤字脱字が多いので、注意してください。

世界観や、背景などと言ったものが苦手なので、そちらも注意してください。

まだまだ、たくさん注意することがあるのですが、OKと言う方だけお願いします。

第1話：未知から始まる・・・

・・・ここは、未知の星 アンノウンの帝国 アギオン の帝都 シルヴァーン から少し離れ、あたりは畑やらなんやらで、帝国の目にも置かれていない・・・いわば田舎村である。俺はここで、独立騎士団 の団長を務めている。

独立騎士団 とは、平和だった我々の国を取り戻すために生まれ持った能力を持つ アビリティ 異能者 が集った組織のことである。

おっと、俺の名前を覚えておこう・・・俺は ファントム Phantomだ。よろしく頼む。

「おーい、ファントム！」

「ん？ なんだ？ 帝都の騎士団が動き出したのか？」

今俺に話しかけたのは、第三刃隊長を務めている クロス Cloth・ディルン Dilynだ。

こいつは俺と違って刀や剣で戦うのではなく、どんな銃でもリロード無しで打つことができる能力を持つ男だ。

そして非常に活発な奴でたまにウザい。でも、いいやつ。

「いや、違うんだけどよお。今、レインとリナから連絡が入ったんだ。」

「ああ、例の任務の連絡か・・・で、どういう報告だ？」

「ああ、それが・・・あまりいい報告じゃない。」

いい報告じゃないとなると、あいつら、相当手古摺ってるんだな・

「まあ、気持ちは分からなくもないけど・・・」

「まあいい、続けてくれ。」

「あ、ああ・・・実は、奴が殺されていたらしい。」

「なんだと!? それは本当か!？」

今現時点でどういう任務をしているのかは、まだ口にする事はできないが、少々厄介なことになったな。

「・・・わかった。だが、帝国の動きも気になるし・・・俺は帝都へ行きたいのだが・・・」

「なら、俺が手伝ってこようか? ほかのメンバーは別の任務にしているし。ちょうど暇だったんだよ。」

「よし。なら、すぐにでも合流してくれ。油断はするなよ。」

そう俺が後押しした後、クロスは「了解!」と言って、さっそくこの田舎村を出て行った。

「フロントムや。」

「ん? ああ、村長。すみませんね、いつも騒がしくさせてしまつて。」

この人は、この田舎村の村長を務めている。俺ら 独立騎士団はこの人によって守られているようなものだ。簡単に言えば、匿ってもらっている。

「いやいや、いいんじゃないよ。むしろ、忙しいのに畑作業を手伝ってもらって申し訳ないくらいじゃ。」

「いえいえ。俺たちがあなたによって守られている以上。これくらいのことはしますよ。そして、なんとしてもこの村を守りますから。」

そう、俺にはこの村を守るといふ使命がある……

「村長……申し訳ないですが。一、二、三日開けることになるんですが、構いませんか？」

「ああ、構わんよ。ただし、無理は禁物じゃよ。」

そういわれると、俺もクロスとは違う、逆方向から田舎村を出て、帝都 シルヴァーン へと向かった……

第1話：未知から始まる・・・（後書き）

どうも、初めての投稿で右左がわかりません。

何かありましたら、メッセージのほうもよろしく願います。

また、アドバイス等もございましたら、そちらもよろしく願います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8354q/>

Unknown Story

2011年10月8日18時09分発行